

# 進路だより

浜松視覚特別支援学校 進路指導課

令和7年9月5日(金) No.4

## ★PTA 施設見学の報告★

7月25日(金)には、PTA 施設見学を実施しました。今年度は、本校卒業生の就業先でもある「西山病院」と「ウイズ半田」の2つの職場を見学しました。御参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。以下、見学について報告をします。

### ◇医療法人社団一穂会 西山病院(中央区西山町)◇



昭和56年に開院、今年で45年目を迎える。医療福祉法人と社会福祉法人としてグループ経営(西山病院グループ)している。

西山病院グループでは、グループ内の4つの施設において、本校専攻科の卒業生3人を含む4人のマッサージ師が勤務している。彼らは、「リハビリテーション課」に所属し、理学療法士の指示を受け、「リハビリ助手」として、マッサージや関節可動域訓練、歩行、起立、立位の見守り、体操の補助な

どを行っている。

勤務時間は、午前8時30分から午後5時。午前は、9時から11時30分、昼食休憩をはさんで、午後は1時から4時がマッサージ等の時間となる。



午前、午後の終わりの時間は、電子カルテの入力作業、計画書の発送準備や手続きなどを行う。

リハビリの対象は、ほぼ高齢者である。一日に15人～20人の患者さん（一人20分程度）にマッサージをすることもあるとのこと。

見学では、2人のリハビリスタッフさん（本校卒業生）のお話を聞くことができた。両卒業生とも、35年以上も継続して勤務されていて、スタッフ間の人間関係の良



さや職場の働きやすさを大変強調されていた。また、「患者さんとの距離も近く、一人一人と丁寧に向き合いながら、リハビリを提供できることにやりがいを感じ

ている。」と話してくれたことも、とても印象的であった。

◇NPO 法人六星 ウイズ半田 (中央区半田町)◇

目の見えない・見えにくい人たちが通う、就労継続支援 B 型の事業所である。毎日平均17人の利用者さんがおり、本校卒業生も通所している。工賃は、3.3万



円程度。「利用者が障害年金と工賃で一人暮らしてできる」ことを目標にしている。広報や名刺の点字印刷、企業からの下請け、自主生産が主な仕事内容となっている。作業前には、毎日30分程度のミーティングの時間がある。(10時から10時30分)そこでは、視覚障害者の方の情報提供・保障の場となっており、新聞や広告を読んだり、利用者さん同士が会話を楽しんだりしている。

作業見学では、段ボールの組み立て、マグネットの梱包、名刺の目印付け、アルミ板のやすり掛けなどの



様子を拝見した。ウイズ半田には、様々な治具が用意されている。それらを使用することで、ミスなくできているかを利用者さん自身が手

で触れて常に確認しながら仕事をしていたことが印象的であった。

## ★産業現場等における実習の報告★

夏季休業前になりますが、高等部普通科の生徒は6月から7月にかけて「産業現場等における実習」を行いました。実習の目的は、

- 社会生活や職業生活に必要な基礎的能力（知識・技能・態度・習慣）を身に付ける。
- 労働の大切さ、勤労の尊さを学ぶ。
- 卒業後の生活や日中活動の経験を通して、自分の将来に対して見通しを持ち、自立への意欲や自信を深める。

です。それぞれの実習について紹介します。

### 【Aさん：社会福祉法人七恵会 中央長上苑 10日間】

実習中の仕事の内容は、介護補助、主に利用者さんの整髪（ドライヤー）、歩行訓練・運動の付き添い、体操・レクリエーションの補助などです。利用者さんから「ありがとう。」と言われることにやりがいを感じることができました。

## 【Bさん：ヤマハモーターMIRAI株式会社 5日間】

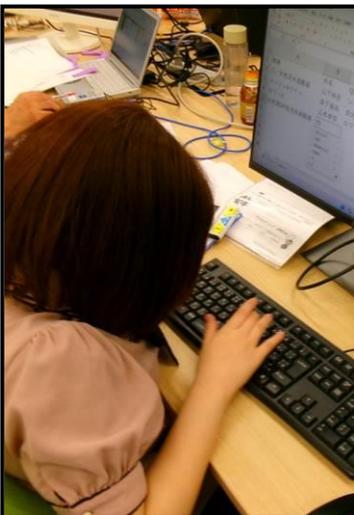
ヤマハ発動機株式会社の特例子会社にて、宛名ラベル貼り、パソコン入力、冊子・社報の封入などの事務作業を行いました。正確に、速やかに作業を進める力、見えにくさを補う工夫、そして、会社で求められる態度について、学ぶことができました。

## 【Cさん：有限会社伸栄総合サービス しんえい保育園 5日間】

主な仕事内容は、給食業務補助（給食準備、配膳、食洗）・園児対応補助です。家事の経験を活かすことができました。また、園児と関わるのがとても楽しく、毎日やりがいをもって実習に臨めました。

## 【Dさん：就労継続支援 B型事業所 まめったい 5日間】

静岡市にある株式会社ティーサービスが運営するB型事業所にて、厨房内作業や食洗、清掃、畑仕事などを行いました。職場での身だしなみ、清潔、報連相の大切さを体験的に学ぶことができました。



後期の実習は、11月に予定しています。今回の学びを生かして、それぞれの課題と向き合い、目標をもって学校生活を送り、さらに成長して、次の実習に臨みたいですね。

## ★中学部職業体験の報告★

7月1日(火)から2日(水)の間、今後の進路選択に役立てることや職業理解を促すことを目的に、今年度1回目の職業体験を行いました。2年生は「ウイズ蜆塚」、3年生は「本校治療室」で体験しました。

「ウイズ蜆塚」では、スティック茶の袋詰めやゼリーの箱の組み立て作業を体験しました。箱の組み立てでは、角の組み立てに苦戦している生徒の様子が見られましたが、難しいところは自ら質問し、作業終了の時刻まで粘り強く取り組みました。複数人で行う作業では、自分から「できました。」「お願いします。」と伝えることで、製品の受け渡しがスムーズになることを学びました。今回の体験を通して、自ら報告や質問をする大切さ、複雑な作業に対して集中力を持続させることの大変さを学びました。

「本校治療室」では、専攻科の主任からまず専攻科の説明を受け、その後あん摩マッサージ・鍼・灸の体験をさせてもらいました。説明では、専攻科でどのような

勉強をするのか、理療科と保健理療科の違い、卒業後の進路、浜松視覚と静岡視覚や沼津視覚の違いなどを専攻科主任から教えていただきました。

あん摩・鍼・灸の体験では、まず両手でさする、叩く、親指で押すといったあん摩の基本動作を教えてもらい、中学部主事や担任を相手に施術をしました。実際に行うことで、さする速度や押す力加減など難しさを知りました。また鍼を実際に触り、その細さに驚いたり、お灸を肌へのせ、その温かさを実感したりしました。

最後に専攻科主任から、自分自身が心身ともに健康であること、患者の方とはしっかりとコミュニケーションをとることなど、社会人として大切なことを教えていただきました。



### ★しんろ・インフォメーション④★

今回は、卒業生の活躍について、報告します。近年、視覚特別支援学校専攻科の進路先のひとつと

して、「ヘルスキーパー」が注目されています。ヘルスキーパーとは、企業内理療師とも言われ、企業に雇用され、従業員に施術を行います。企業の健康経営、従業員の健康増進、福利厚生の実充、視覚障害者の雇用の促進などを目指しています。ヘルスキーパーの多くは、企業の正社員として採用されています。

本校からも、ヘルスキーパーとして活躍している卒業生が何人かいます。県内では、静岡銀行と遠州鉄道株式会社が、ヘルスキーパー制度を取り入れています。先日、遠州鉄道株式会社さんの「健康サポート室」の開所式に参加させていただきました。卒業生たちが、在学中の学びを生かして、従業員さんたちに、あん摩をして、疲労やストレスを軽減していました。企業で活躍する卒業生、とっても素敵に見えました。



(文責:進路指導課 吉田・中野)